

高畑さん屋敷に94本の新しい命を植え込む 好天・35人の参加で楽しく

4月7日（土）午前中、砺波市秋元の高畑邦男さん宅で植栽行事を行った。おだやかな好天に恵まれ、35名（うち子ども3名）が、参加した。

高畑さん宅は、スギ高木の下にツバキ、カシ、サカキ、マツの中木が入り、広く立体感のある屋敷林。平成16年の23号台風で母屋北面のスギ、ヒバが9本倒木。その復元も含め風に強い屋敷林をもとめて、今回の行事となった。



植え付けの説明を聞く

■高畑さんはカイニヨ倶楽部の会員で、今回の植栽のきっかけは、

- ①倒木被害にあった北面を整理し、生垣と少しの高木になる樹木を入れたい。
- ②スギと共生して大きくなる樹種も配置したい。

といった希望と相談を受け、それに応え、カイニヨ倶楽部も手伝えることになったもの。

■今度の試みのテーマは、

- ①現存するスギ高木や多くの中小木を生かし、もっと元気で風にも強い屋敷林にする。若干の日陰でも成長し、この地に合う樹種を入れ樹齢の異なる樹叢をつくる。スギ中心の屋敷林に厚みを加える実験
- ②北面での生垣（高畑さんの希望で、ドウダンツツジを）と少しの高木のエリアをつくり、花木の低木も加える実験。（北西の植え付け幅は割合狭い）

この二つの主題を作業前に説明し、植え付けに入った。あらかじめ予定した植穴にバーク堆肥を入れ、それぞれ心をこめ植え付けた。



屋敷林内での植え付け



生け垣とその内側にウツギ・ヤマブキ等の花木を入れる

タブやスダジイを入れる ヤマブキの芯の利用と話も

樹種は、タブ、スダジイ、ウラシロガシ、ケヤキ、エゴノキ、ヤブツバキ、スギ・23本を、南西面の屋敷林内に入れた。北面の生垣はドウダンツツジ、サザンカ・49本とその内側にウメモドキ、ウツギ、ヤマブキ・18本、スギ、ヒバ・4本を植えた。総植付数94本を約1時間30分で終了した。そのあと、車座になってあつい豚汁を口にし、談笑した。作業でヤマブキを植えたことから「この芯は大事な灯明に使ったものだ」との橋本武さんの話に多くの参加者が驚き——さっそく橋本さんは自宅まで実際の木とそこから取り出した芯を持ってきて、みんなに説明。先人の智恵に接する良い勉強会になった。

このあと、高畑さん宅の家屋内を見せてもらいリフォームした台所に沢山の自宅のスギ材が腰板や食器棚等に使われているところや、玄関の式台板はこれも自宅のカキ材が使われていることに感心し、注目した。

最後に柏樹直樹代表幹事が「心をこめ植えた木はきっと大きくなり新しいカイニョの形をつくるに違いない。将来見事になることに期待したい」と締めくくり、正午前散会した。

高畑邦男さん談

沢山来ていただき、植付けをしてもらい、良い思い出の日になりました。必ず全部が育つように成長を手伝っていきます。生垣もでき、一つの大きな節目の年になりました。楽しい集いに感謝しています。



林内にウラジロカシを子供も手伝って

10周年記念総会 5月20日に

— 発足した浄光寺で —

カイニョ倶楽部をつくり、10年の節目を迎えました。

その記念総会を5月20日（日）午後1時30分から砺波市東保・浄光寺で開きます。浄光寺は発足した時の総会を開いた場所で、その時に植えたハクモクレンの成長を確認しあうことも楽しみです。

総会では、住職の吉澤様のお話しと散居村ミュージアムの砂田龍次館長の演題「散居とカイニョと人々」を聞きます。

ぜひ、まわりの方々に声をかけられ、沢山の参加を待っています。

■事務局からのお知らせです。

ホームページが新しくなりました。

<http://kainyo.tm-port.net/>

制作は、北陸工業専門学校（小矢部市）のご協力で、生徒の藤田周平君が卒業制作で担当しました。

また、学校には「測量学科・建築学科・コンピューター学科」の3学科があり、教育上一般社会との連携が重要課題と考えておられますので、些細なことでもご相談下さい。事務局 天野まででもかまいません。

尚、天野は、建築学科非常勤講師を致しておりますので。